

令和5年度進行管理・評価シート
彦根市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成30年3月26日認定）
（最終変更 令和6年5月22日）

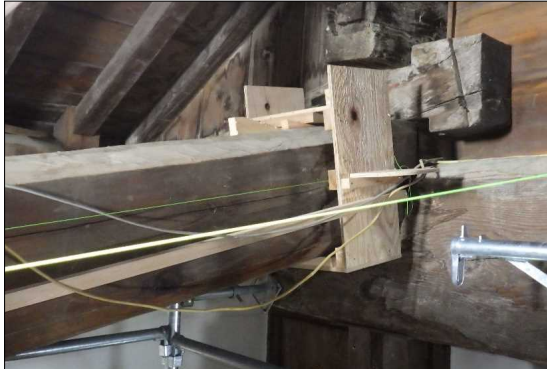
□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施・推進体制	 1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画との連携	 2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
(1) 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業	
1 1-1 特別史跡彦根城跡保存整備事業	 3
2 1-3 河原町芹町地区伝統的建造物群保存整備事業	 4
(2) 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境に関する事業	
3 2-1 旧城下町地区周遊環境整備事業	 5
4 2-2 旧城下町地区周遊環境構築事業	 6
5 2-3 無電柱化等道路修景事業	 7
6 2-4 歴史的地域環境保全再生事業	 8
(3) 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する事業	
7 3-1 伝統工芸継承支援事業	 9
8 3-2 伝統芸能継承事業	 10
9 3-3 伝統技術者育成支援事業	 11
10 3-4 歴史まちづくり活動支援事業	 12
11 3-5 伝統的行催事開催事業	 13
(4) 歴史的風致の普及・啓発と情報発信に関する事業	
12 4-1 博物館展示・文化財等郷土資料公開事業	 14
13 4-2 歴史的風致情報発信事業	 15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理	 16
2 文化財の防災	 17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	 18
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 彦根市の観光客入込数について	 19

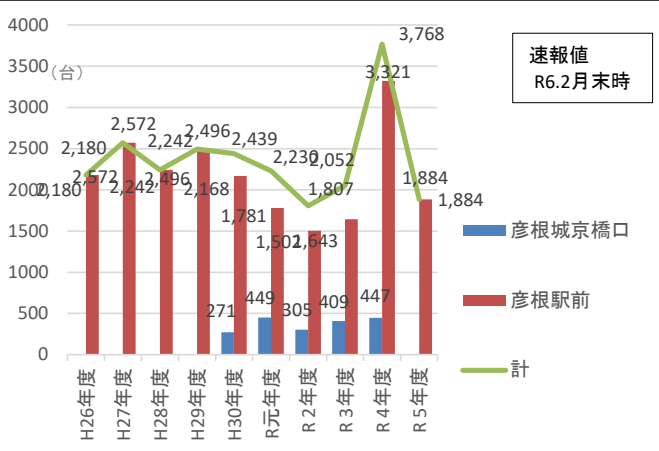
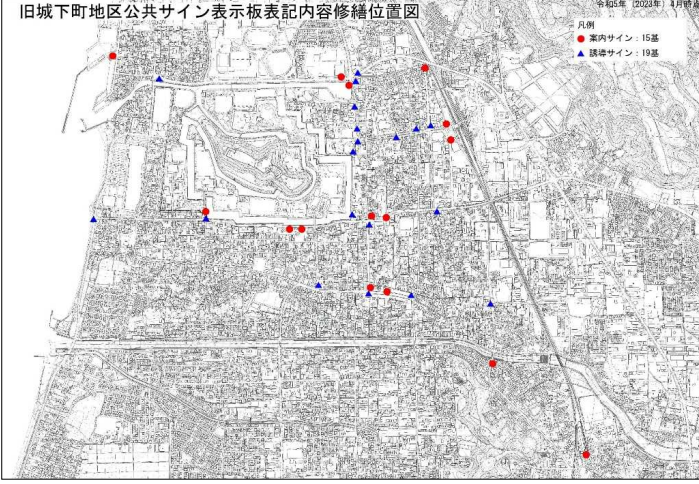
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	 20
-------------------------	----------

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
計画の実施・推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	歴史まちづくり部局が中心となって、彦根市歴史まちづくり庁内推進会議により関係する所属との連携を図る。さらに、彦根市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進、変更ならびに事業の円滑な進行に係る連絡調整を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
彦根市歴史まちづくり庁内推進会議は必要があれば会議を招集することとし、令和5年度は会議メンバーである各関係部署へ書面照会するのみとした。 また、彦根市歴史的風致維持向上協議会を令和5年4月27日(令和4年度事業)に開催し、令和5年度事業については令和6年4月18日に開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【実施体制】 彦根市歴史まちづくり庁内推進会議(歴まち計画部門) 計画案の検討・連絡調整 【構成】 関係課 【企画課・観光交流課・地域経済振興課・道路河川課・交通政策課・住宅課・建築指導課(景観まちなみ室)・都市計画課・広報戦略課・文化財課・彦根城博物館学芸史料課・彦根城博物館管理課】 事務局 計画案の検討・作成 文化財課		
●彦根市歴史まちづくり庁内推進会議 ※書面照会のみ 照会内容: - 彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について - 同計画に関する各課の事業について(進捗評価) ●彦根市歴史的風致維持向上協議会 第1回(令和4年度事業分) 開催日:令和5年4月27日(木) 主な議題: - 彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)の中間評価および進捗評価について - 彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について 第1回(令和5年度事業分) 開催日:令和6年4月18日(木) 主な議題: - 彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)の進捗評価について		
中央町(市庁舎別館) 令和5年4月27日(木)撮影		
中央町(市庁舎別館)		

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
都市計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点地区は、全域が市街化区域であり、本市の中心市街地であるが、人口減少も進み空き家、空き地が増加し、歴史的な環境を活かした取り組みが必要となってきた。このため、都市計画との適切な連携により、地区計画など歴史的風致の維持向上に即したまちづくり計画の策定を地域住民とともに取り組み、本市の歴史的風致の維持向上に努めるものとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
芹橋二丁目地区では、昨年度から続けて「文化遺産を活かしたまちづくり研究会」が今年度2回開催され、足軽組屋敷が残る芹橋二丁目らしいまち並みデザインガイドづくりの報告会が行われた。また、同地区の防災広場に係る整備について、令和5年8月より工事に着手し、令和7年3月末の完了を目指し取り組んでいる。 本市の今後の空き家対策の推進を図るため、彦根市空家等対策推進協議会が今年度1回開催され、彦根市空家等対策推進協議会要綱の改正を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
文化遺産を活かしたまちづくり研究会 開催日: 令和5年8月27日(日) 開催内容: 報告会「「芹橋らしいまち並み」デザインガイド」  芹橋二丁目 令和5年8月27日(日)撮影 防災広場整備状況  芹橋二丁目 令和6年2月29日(木)撮影 第1回彦根市空家等対策推進協議会 開催日: 令和5年8月30日(水) 議題: 彦根市空家等対策推進協議会要綱の改正について  元町(市庁舎) 令和5年8月30日(水)撮影 防災広場完成イメージ図 		

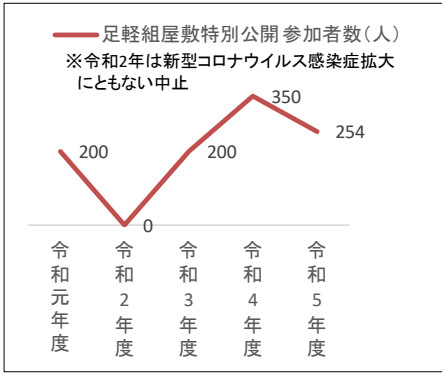
評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
1-1 特別史跡彦根城跡保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度(2005年度)～令和9年度(2027年)	
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業、市単独事業	
計画に記載している内容	特別史跡彦根城跡の適切な修理や整備、活用を進めるため、平成27年度に策定した特別史跡彦根城跡保存活用計画に基づき、平成4年に策定した特別史跡彦根城跡整備基本計画の見直しを行う。 また、特別史跡内の石垣の保存修理を含めた史跡整備を実施し、文化財の適切な保存を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和5年3月に策定した「国宝・重要文化財(建造物)彦根城天守ほか6棟保存活用計画」に基づき耐震対策工事を開始するとともに、防災設備整備工事の実施設計を実施した。また「特別史跡彦根城跡整備基本計画(原案)」の記載を時点修正したうえで具体化するため、特別史跡彦根城跡保存活用計画・整備基本計画検討委員会を2回開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
特別史跡彦根城跡保存活用計画・整備基本計画検討委員会 開催日: 令和5年9月13日(水) 主な議題: 整備基本計画の審議(原案の見直しに関する説明、現状報告)  元町(市庁舎) 令和5年9月13日(水)撮影 国宝彦根城天守耐震対策工事実施状況  金亀町(彦根城天守) 令和6年3月1日(金)撮影  金亀町(彦根城天守) 令和6年3月1日(金)撮影  金亀町(彦根城天守) 令和6年3月1日(金)撮影		

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
1-3 河原町芋町地区伝統的建造物群保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度(2018年度)～令和9年度(2027年度)	
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)	
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存修理事業または歴史的建造物以外の建築に関する修景事業を行う事業者に対して、修理または修景の補助金を交付し、歴史的なまちなみの保全に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重要伝統的建造物群保存地区である「河原町芋町地区」では、歴史的風情を残す町割りや伝統的建造物を維持し、歴史的なまちなみの保存と歴史的景観の形成に努めている。これらの維持や保存において、彦根市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づき、伝統的建造物の修理事業として3件の事業が行われ、各事業の修理に対して補助を行った。なお、事業の実施の際、修理の方針や現場での痕跡調査による指導および助言を行い適切な事業の推進に努めた。 伝統的建造物の修理:3件 伝統的建造物以外の修景:0件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
伝統的建造物 (通信舎)	 修理前 河原二丁目 令和5年4月17日(月)撮影	 完了 令和5年12月12日(火)撮影
伝統的建造物 (三谷家住宅)	 修景前 芋町 令和5年6月16日(金)撮影	 完了 令和5年12月20日(水)撮影
伝統的建造物 (旧藤本家住宅)	 修景前 河原三丁目 令和5年6月16日(金)撮影	 完了 令和6年2月2日(金)撮影

評価対象年度		令和5年度																																												
項目		現在の状況																																												
2-1 旧城下町地区周遊環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																												
事業期間	平成24年度(2012年度)～令和6年度(2024年度)																																													
支援事業名	都市再生整備計画事業、市単独事業																																													
計画に記載している内容	旧城下町地区特有の町割りが残る通りを、徒歩または自転車によって移動しやすくする環境の整備推進ならびに代表的な歴史的建造物などを紹介する案内板の設置などに継続的に取り組む。																																													
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																														
サイクルステーションでは、令和4年度は過去最大の利用台数となったものの、運営費用の高騰が課題だった。令和5年度は、料金の改定や京橋口のステーションを閉鎖するなど運営の健全化を目指して取り組んだ結果、貸出台数は減少したものの、歳入の増加につながった。しかし、恒常的に続く赤字運営の改善には至らず、令和5年度末をもって事業廃止となった。 旧城下町地区内で整備に取り組んでいる公共サインは、令和5年度で当初計画をしていた案内サイン15基、誘導サイン19基の合計34基の設置を完了した。また、設置から時間が経過した案内サインおよび誘導サインについて、現状と相違する案内サインおよび誘導サイン内の表示内容についてアップデートを行った。																																														
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																													
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																																														
状況を示す写真や資料等																																														
  <table border="1"> <caption>サイクルステーション利用台数表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>彦根城京橋口</th> <th>彦根駅前</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26年度</td><td>180</td><td>2,180</td><td>2,360</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>242</td><td>2,572</td><td>2,814</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>496</td><td>2,242</td><td>2,738</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>168</td><td>2,496</td><td>2,664</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>271</td><td>1,781</td><td>2,052</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>449</td><td>1,501</td><td>1,950</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>305</td><td>1,643</td><td>1,948</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>409</td><td>1,807</td><td>2,216</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>447</td><td>3,321</td><td>3,768</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>1,884</td><td>1,884</td><td>3,768</td></tr> </tbody> </table> 速報値 R6.2月末時			年度	彦根城京橋口	彦根駅前	計	H26年度	180	2,180	2,360	H27年度	242	2,572	2,814	H28年度	496	2,242	2,738	H29年度	168	2,496	2,664	H30年度	271	1,781	2,052	R元年度	449	1,501	1,950	R2年度	305	1,643	1,948	R3年度	409	1,807	2,216	R4年度	447	3,321	3,768	R5年度	1,884	1,884	3,768
年度	彦根城京橋口	彦根駅前	計																																											
H26年度	180	2,180	2,360																																											
H27年度	242	2,572	2,814																																											
H28年度	496	2,242	2,738																																											
H29年度	168	2,496	2,664																																											
H30年度	271	1,781	2,052																																											
R元年度	449	1,501	1,950																																											
R2年度	305	1,643	1,948																																											
R3年度	409	1,807	2,216																																											
R4年度	447	3,321	3,768																																											
R5年度	1,884	1,884	3,768																																											
   旧城下町地区公共サイン表示板表記内容修繕位置図 令和5年度(2023年)3月時点 ●案内サイン: 15基 ▲誘導サイン: 19基 西沼波町 令和6年2月20日(火)撮影 京町一丁目 令和6年2月20日(火)撮影 ●案内サイン 15基 ▲誘導サイン 19基																																														

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
2-2 旧城下町地区周遊環境構築事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度(2017年度)～令和5年度(2023年度)	
支援事業名	街路交通調査費補助(総合都市交通体系調査)、都市再生整備計画事業、市単独事業	
計画に記載している内容	彦根ICから観光の主要な目的地である彦根城に向かう道路は、観光シーズンを中心に慢性的な渋滞が起こっているため、旧城下町区域外に駐車場を設け、専用の周遊バスに乗り換えるパーク・アンド・バスライドの社会実験を通して、本格実施に向けて旧城下町地区周辺の渋滞の解消およびまち歩きしやすい環境の構築を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
彦根城周辺の地域課題解決のための交通対策の一つとして、グリーンスローモビリティによる旅客輸送を行う社会実験を令和5年10月6日から令和5年10月16日までの11日間実施し、延べ1,557人が利用した。パーク・アンド・バスライドについては、既存の路線バスを活用した運用について検討した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
グリーンスローモビリティ 社会実験チラシ  グリーンスローモビリティ社会実験  金亀町(彦根城二の丸) 令和5年10月7日(土)撮影   本町一丁目(夢京橋キャッスルロード) 令和5年10月7日(土)撮影		

進捗評価シート		(様式1-3)
		評価対象年度
		令和5年度
項目		現在の状況
2-3 無電柱化等道路修景事業 【市道佐和立花線】 【市道立花佐和線】 【市道河原16号線・芹町4号線】 【その他道路】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度(2011年度)～令和9年度(2027年度)	
支援事業名	防災・安全交付金(道路)、交通安全対策補助(通学路緊急対策)、都市構造再編集集中支援事業補助、市単独事業	
計画に記載している内容	まちなみ景観に調和するよう、無電柱化ならびに歩道の修景整備を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【市道佐和立花線】 都市計画道路立花船町線(総延長460m)では、全ての用地取得および電線共同溝整備が完了した。また、歩道(延長50m)整備が完了し、併せて、市道佐和立花線相互通行に必要となる主要地方道の交差点改築(延長159m)が完了した。さらに、電柱類抜柱および電線類地中化に向けての手続きを行っており、かつ、護国神社前交差点改築に係る工事を発注する見込である。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	【市道立花佐和線】 市財政状況を鑑み、事業着手を先送りする方針である。 【市道河原16号線・芹町4号線】 無電柱化整備の計画的な実施に向け、今後、策定予定である地区内防災計画にあわせた複合整備についても検討する必要がある。なお、当該路線の整備優先度について、本市で掲げる道路整備との位置付けや事業費の縮減など、実施に向けた課題も多く、今後整理を行うこととする。	
状況を示す写真や資料等		
事業箇所位置図  市道佐和立花線 (都市計画道路 立花船町線) 市道佐和立花線  立花町 令和5年10月6日(金)撮影		

評価対象年度		令和5年度												
項目		現在の状況												
2-4 歴史的・地域環境保全再生事業 【善利組足軽組屋敷地区】 【河原町芋町地区】 【魚屋町地区】 【七曲がり地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手												
事業期間	平成22年度(2010年度)～令和9年度(2027年度)													
支援事業名	市単独事業													
計画に記載している内容	歴史的な風景が残る地区において、地域と協働して歴史を生かしたまちづくり活動の推進に継続して取り組む。													
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で														
【善利組足軽組屋敷地区】 芹橋二丁目では、令和5年10月14、15日に彦根辻番所の会の主催により、歴史的風致形成建造物を含む「足軽組屋敷特別公開」が行われ、令和2年度を除く過去3年の平均見学者数とほぼ同じ約254人が見学された。また、NPO法人彦根景観フォーラムと地元自治会の主催により「文化遺産を活かしたまちづくり研究会」が開催され、足軽組屋敷が残る芹橋二丁目らしいまち並みデザインガイドづくりの報告会が開催された。 【河原町芋町地区】 河原町芋町地区では、令和5年10月14日に近江鉄道株式会社主催のガチャコンフェスが開催されたことから、これに併せ芹川駅から重伝建地区の建造物4件の内部公開とまちなみを見て歩くツアーを実施した。														
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)													
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない														
状況を示す写真や資料等														
【善利組足軽組屋敷地区】  足軽組屋敷特別公開 開催日: 令和5年10月14日(土)～15日(日) 開催場所: 芹橋二丁目(辻番所) 参加者: 20人  文化遺産を活かしたまちづくり研究会 開催日: 令和5年6月25日(日) 開催場所: 芹橋二丁目(辻番所) 参加者: 20人  足軽組屋敷特別公開 開催日: 令和5年10月14日(土)、15日(日) 開催場所: 芹橋二丁目ほか 参加者: 254人 芹橋二丁目 令和5年6月25日(日)撮影														
【河原町芋町地区】  GACHA FES 開催日: 令和5年10月14日(土) 開催場所: 河原町・芋町伝統的建造物群保存地区内  まち歩きツアー 開催日: 令和5年10月14日(土) 開催場所: 河原町・芋町伝統的建造物群保存地区内  足軽組屋敷特別公開参加者数(人) ※令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大にともない中止 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>254</td> </tr> </tbody> </table> 河原二丁目 令和5年10月14日(土)撮影			年度	参加者数(人)	令和元年度	200	令和2年度	0	令和3年度	200	令和4年度	350	令和5年度	254
年度	参加者数(人)													
令和元年度	200													
令和2年度	0													
令和3年度	200													
令和4年度	350													
令和5年度	254													

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
3-1 伝統工芸継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度(2015年度)～令和9年度(2027年度)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に基づき、新規職人の人件費補助を行う。また、彦根仏壇の伝統工芸に携わる職人の後継者問題に対応するため、彦根仏壇事業協同組合が行う彦根仏壇の活性化に係る人材育成や情報発信、イベント開催などの事業に対して補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国の伝統的工芸品「彦根仏壇」の伝統的技術の維持向上や、後継者の育成に貢献してこられた1名を伝統的工芸品産業技術者として、令和6年1月15日に表彰式を行った。 また、彦根仏壇事業協同組合の主催により行われた後継者育成のための市内小中学校での体験学習、その他、彦根仏壇の活性化に係る各種事業に対して補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
彦根市伝統的工芸品産業技術者表彰式 開催日: 令和6年1月15日(月) 開催場所: 彦根市役所特別応接室  元町(市庁舎) 令和6年1月15日(月)撮影  元町(市庁舎) 令和6年1月15日(月)撮影 市内小中学校での体験学習 開催日: 令和5年10月4日(水)、11月14日(火)、24日(金)、29日(水)、12月7日(木) 授業風景  鳥居本町 令和5年11月14日(火)撮影  鳥居本町 令和5年11月14日(火)撮影			

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
3-2 伝統芸能継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和62年度(1987年度)～令和9年度(2027年度)	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的建造物の能舞台において、伝統芸能である能・狂言を開催し市民が伝統芸能に触れる機会を創出する。また、小学生の高学年を対象に、能舞台を利用して、狂言の所作や実技を学習し、発表会まで実施する体験学習を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和5年度は、彦根城博物館にある能舞台の利用拡大と、利用時の展示品保存環境の向上を図るため、脇見所に設置するスライディングウォールの改修工事を施工中であることから、能舞台の使用は9月から工事完了まで中止した。同館ではこれまで小学生を対象に狂言の体験学習を行ってきたが、児童への負担が大きく参加者が集まらないことから、今後、正式に事業を中止し、代替事業としてキッズサマースクールとわくわく体験スクールを実施していくこととする。今年度は7月30日と8月6日にキッズサマースクール「昔ふうの手紙を書こう!」を、10月15日にわくわく体験スクール「茶道を楽しもう」を開催し、伝統文化や歴史を学ぶ機会を提供した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
キッズサマースクール 昔ふうの手紙を書こう! 開催日: 令和5年 7月30日(日)・8月6日(日) 開催場所: 彦根城博物館 参加者: 48人  金亀町 令和5年7月30日(日)撮影 わくわく体験スクール 茶道を楽しもう 開催日: 令和5年 10月15日(日) 開催場所: 彦根城博物館 参加者: 39人  金亀町 令和5年10月15日(日)撮影 彦根城博物館スライディングウォール改修工事 施工期間: 令和5年 9月30日～令和6年3月8日 施工場所: 彦根城博物館  金亀町 令和5年11月15日(水)撮影		

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
3-3 伝統技術者育成支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度(2011年度)～令和9年度(2027年度)	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	玄宮楽々園などの庭園管理を行う技術者を育成し、文化財庭園を保存するため、庭園管理の専門家による庭園管理アドバイザー事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
玄宮楽々園では、委託業務による庭園内の植栽整備や常駐作業員による日常的な管理を実施し、適切な文化財庭園の管理を行った。特に、作業員による管理が可能である中・低木の剪定作業等を中心に実施することとしており、作業にあたり、専門家による指導を受け、庭園全体の維持管理についての技能習得を目指して、庭園管理アドバイザー事業を実施し、技術力の向上に繋げ、四季折々での庭園景観の維持に努めた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

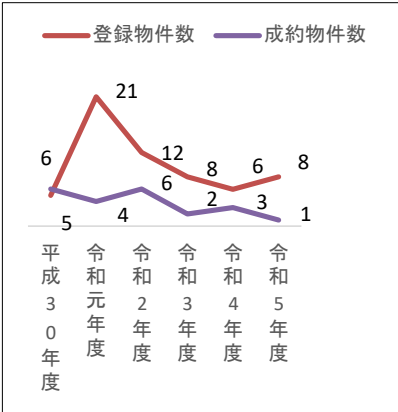
名勝玄宮楽々園(玄宮園)

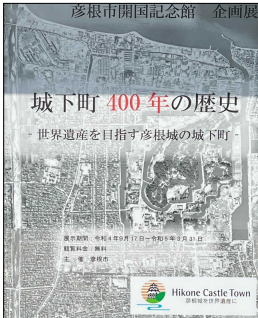
専門家による庭園管理指導状況


 金亀町
 令和6年2月13日(火)撮影

 金亀町
 令和6年2月13日(火)撮影

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
3-5 伝統的行事開催事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度(2018年度)～令和9年度(2027年度)	
支援事業名	市単独事業(彦根商店街連盟事業・観光行催事事業)	
計画に記載している内容	彦根を代表する行事のひとつである城まつりパレードの開催を継続して行う。昭和21年に復活した彦根大魚びす講の開催を行う彦根商店街連盟に対して、開催に伴う活動の支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
秋の恒例行事である「ひこねの城まつりパレード」は、子ども大行列や彦根らしさを組み入れた井伊の赤鬼家臣団列など、赤備えの甲冑に身を包んだ人々が旧城下町一帯をパレードした。このパレードには、90,000人の観光客が訪れた。11月18日～19日の2日間にかけて開催された「彦根大魚びす講」では、地元小学校のマーチングバンドの演奏や様々な模様仕が開催され、歴史的な行催事のにぎわいに花を添えた。また、彦根商店街連盟に対しては、伝統的行事の一つである魚びす講開催のため活動支援を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【ひこねの城まつりパレード】 開催日: 令和5年11月3日(金) 開催場所: 金亀町ほか 参加者: 90,000人  金亀町 令和5年11月3日(金)撮影  本町二丁目 令和5年11月3日(金)撮影 【彦根大魚びす講】 開催日: 令和5年11月18日(土)、19日(日) 開催場所: 銀座町ほか チラシ  魚びす講のようす  銀座町 令和5年11月18日(土)撮影  中央町 令和5年11月18日(土)撮影		

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
3-4 歴史まちづくり活動支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度(2012年度)～令和9年度(2027年度)	
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)、市単独事業	
計画に記載している内容	小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムは、市内に増加しつつある空き町屋に対して、利活用の促進を図る活動を支援する。また、歴史的風致の維持向上のために取組む各団体が、彦根の歴史・文化の次世代への継承・発展や、市内に残る文化財を活用した地域活性化を推進するために行う事業に対して支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムは、空き町屋の利活用の推進を更に進めるため、小江戸ひこね町屋利活用促進事業補助金による活動支援を行い、町屋の利活用の取り組みとして登録物件8件と成約物件1件の成果があり、過去5年の平均と比べると減少した結果となった。また、当該コンソーシアムでは、空き家活用セミナー・相談会を行ったほか、令和5年11月23日にまち歩き・対話イベントを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 小江戸ひこね町屋情報バンク パンフレット  空き家活用セミナー＆ 個別相談会チラシ  小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムの活動		
 空家活用実績  まち歩き・対話イベントチラシ  小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムの活動		

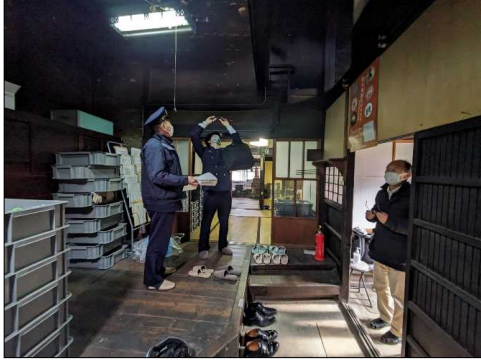
評価対象年度		令和5年度												
項目		現在の状況												
4-1 博物館展示・文化財等郷土資料公開事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手												
事業期間	昭和62年度(1987年度)～令和9年度(2027年度)													
支援事業名	市単独事業													
計画に記載している内容	彦根城博物館では、常設展のほか、企画展や特別展を実施し、彦根を中心とした歴史や文化を広く紹介する。また、開国記念館では、本市の埋蔵文化財調査で得られた成果を中心に、彦根の歴史に関する展示を行うなどの周知啓発を図る。													
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で														
彦根城博物館では、常設展「“ほんもの”との出会い」のほか、特別展「大名と菓子―百菓繚乱―」、企画展「仰ぎて天文を見る―江戸時代の天文学・暦学・星占い―」、「関東大震災から100年 災害と井伊家伝来資料」などを開催し、全国を広く視野に収めながら彦根の歴史文化に関する作品を展示した。併せて、展示関連の講演会・スライドトーク等を開催し、延べ305人の参加があった。なお、過去4年の延べ人数平均参加者数よりは減少した結果となった。 開国記念館では、昨年度から継続して稲部遺跡の調査速報展や彦根城の世界遺産登録の啓発(「彦根城を世界遺産に」、「城下町400年の歴史-世界遺産を目指す彦根城の城下町-」)を行うとともに、旧井伊神社社殿調査の成果報告を兼ねた企画展「井伊神社 祖に頼り子に残し」を開催した。														
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)													
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない														
状況を示す写真や資料等														
【彦根城博物館】 企画展 仰ぎて天文を見る ―江戸時代の天文学・暦学・星占い― 開催日: 令和5年7月28日(金)  金亀町 令和5年7月28日(金)撮影 企画展 関東大震災から100年 災害と井伊家伝来資料 開催日: 令和5年9月1日(金)  金亀町 令和5年10月4日(水)撮影 特別展 大名と菓子 ―百菓繚乱― 開催日: 令和5年10月7日(土)  博物館講演会・ スライドトーク延べ人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>404</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>404</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>347</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>305</td> </tr> </tbody> </table> 【開国記念館】 企画展 城下町400年の歴史 ―世界遺産を目指す彦根城の城下町― 開催日: 令和4年9月17日(土)～令和6年3月31日(日)   金亀町 令和5年11月27日(月)撮影 企画展 井伊神社 祖(おや)に頼り子に残し 開催日: 令和6年2月1日(木)～令和7年3月31日(月)  金亀町 令和6年2月7日(水)撮影			年	人数	R1	404	R2	404	R3	347	R4	340	R5	305
年	人数													
R1	404													
R2	404													
R3	347													
R4	340													
R5	305													

評価対象年度		令和5年度																																										
項目		現在の状況																																										
4-2 歴史的風致情報発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																										
事業期間	平成20年度(2008年度)～令和9年度(2027年度)																																											
支援事業名	市単独事業																																											
計画に記載している内容	本市の歴史・文化を多くの人に知ってもらうため、専門職員による文化財現地説明会や出前講座などを実施し普及啓発に努める。旧城下町区域内のまち歩きを、スマートフォンやタブレット端末を用いて、楽しみながら彦根のほんものの歴史を学ぶことができる多言語に対応した史跡散策アプリを活用し、まち歩きしやすい環境の充実を行う。また、ボランティアガイドの育成支援を行う。																																											
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																												
歴史ならびに文化財の普及啓発では、指定文化財等の特別公開を3箇所ですべて5回開催し、延べ4,335人の参加があった。また、学芸員が地域に出向く出前講座を全37回開催し、延べ1,201人の参加があり、特別公開や出前講座では新型コロナウイルスの流行以前の状況に戻つつある。 さらに、彦根ボランティアガイド協会に対して補助金による運営に関しての支援を行った。																																												
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																											
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																																												
状況を示す写真や資料等																																												
名勝旧彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園の特別公開 開催日: 春季 令和5年4月29日(土・祝)～5月7日(日) 参加者: 443人 秋季 令和5年11月18日(土)～11月26日(日) 参加者: 341人   令和5年4月29日(土・祝)撮影 令和5年11月18日(土)撮影 松原町 特別公開延べ人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>公開場所</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R1</td><td>3</td><td>5</td><td>5227</td></tr> <tr><td>R2</td><td>3</td><td>3</td><td>1866</td></tr> <tr><td>R3</td><td>3</td><td>5</td><td>2474</td></tr> <tr><td>R4</td><td>3</td><td>5</td><td>2512</td></tr> <tr><td>R5</td><td>3</td><td>5</td><td>4335</td></tr> </tbody> </table> 出前講座 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R1</td><td>44</td><td>2151</td></tr> <tr><td>R2</td><td>17</td><td>317</td></tr> <tr><td>R3</td><td>31</td><td>1080</td></tr> <tr><td>R4</td><td>27</td><td>841</td></tr> <tr><td>R5</td><td>37</td><td>1201</td></tr> </tbody> </table>			年	公開場所	回数	人数	R1	3	5	5227	R2	3	3	1866	R3	3	5	2474	R4	3	5	2512	R5	3	5	4335	年	回数	延べ人数	R1	44	2151	R2	17	317	R3	31	1080	R4	27	841	R5	37	1201
年	公開場所	回数	人数																																									
R1	3	5	5227																																									
R2	3	3	1866																																									
R3	3	5	2474																																									
R4	3	5	2512																																									
R5	3	5	4335																																									
年	回数	延べ人数																																										
R1	44	2151																																										
R2	17	317																																										
R3	31	1080																																										
R4	27	841																																										
R5	37	1201																																										
旧井伊神社社殿の特別公開 開催日: 春季 令和5年4月1日(土)、2日(日) 参加者: 480人 秋季 令和5年11月4日(金)、5日(土) 参加者: 195人  古沢町 令和5年11月4日(土)撮影 楽々園建造物「御書院」の特別公開 開催日: 令和5年7月1日(土)～7日(金)、22日(土)23日(日) 参加者: 2,876人  金亀町 令和5年7月2日(日)撮影																																												

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
4-1 文化財の修理		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	平成17年度に「彦根市指定文化財保存修理方針」を定め、文化財所有者と協議の上で修理計画の指導と助言を行い、修理のための財政支援を実施している。修理に際しては、文化財保護法や彦根市文化財保護条例等に基づく修理の届け出の手続きを行うとともに、文化財保護審議会に諮って審議会委員等の指導と助言を得ながら修理を進めている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
指定文化財および登録有形文化財建造物では、適正な保存に努めるため、老朽化等している箇所の修理等に対して修理方針や修理手法の指導・助言を行った。 なお今年度は、市指定文化財佐々木家住宅の修理事業、登録有形文化財中村商家保存館および迫間家住宅の屋根瓦の葺き替えを実施し、文化財建造物としての適切な修理に努めた。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
市指定文化財 佐々木家住宅		
	→	
修理前 後三条町 令和5年5月25日(木)撮影		修理完了 後三条町 令和5年11月17日(金)撮影
登録有形文化財 迫間家住宅主屋		
	→	
修理前 大橋町 令和5年6月20日(火)撮影		修理完了 大橋町 令和6年3月29日(金)撮影

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
4-2 文化財の防災		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	「彦根市地域防災計画」において「文化財対策」を定め、文化財に対する防災業務を実施している。この中で、特別史跡彦根城跡については、防火のための学習や訓練、消火機器などの定期点検を実施している。さらに、市内の指定文化財所有者へ防火設備等の設置について周知するとともに文化財の保存状況を確認するため文化財パトロールを実施している。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
特別史跡彦根城跡では、毎年1月の文化財防火デーに併せて、彦根市消防本部主催による火災防御訓練を実施し、市消防署、消防団、彦根城運営管理センターが参加して、消火活動、重要資料の搬出、避難誘導など迅速な消火体制構築の確認を行うこととしており、今年度は彦根城にて1月21日に火災防御訓練を実施した。 また、例年行っている文化財パトロールは、消防署が実施する消防点検と併せて文化財課職員も立合う形で指定文化財の査察を計25か所で実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
彦根城での火災防御訓練 実施日: 令和6年1月21日(日)		
		
金亀町 令和6年1月21日(日)撮影		金亀町 令和6年1月21日(日)撮影
消防点検と文化財査察 実施期間: 令和5年7、8月、令和6年1月		
千代神社本殿 		服部家住宅 
京町 令和6年1月22日(月)撮影		芹橋二丁目 令和6年2月6日(火)撮影

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
湖東地区最大級の規模の玄室か 滋賀県彦根市・荒神山古墳群		令和5年4月15日	朝日新聞
彦根・善利組足軽組屋敷エリアでマルシェイベント「足軽ちっちゃ市」		令和5年4月17日	みんなの経済新聞ネットワーク
彦根城で天守や櫓を描く「写生大会」 55年続く恒例行事		令和5年5月24日	みんなの経済新聞ネットワーク
彦根藩筆頭家老・木俣清左衛門家の古文書を公開 彦根城博物館		令和5年5月26日	中日新聞
矢入れ「靱」と判明、国内最古級 彦根の稲部遺跡から繊維製品の破片		令和5年6月29日	朝日新聞
「彦根城」を世界遺産登録推薦に向け「事前評価」申請へ 奈良「飛鳥・藤原の宮都」も調整		令和5年7月4日	ABCテレビ
築城以前の彦根山周辺をジオラマに 歴史保存会、「長曾根村」を中心に再現		令和5年7月4日	中日新聞
AR「ひこにゃん」と一緒にダンス 彦根城・開国記念館に体験コンテンツ		令和5年8月2日	みんなの経済新聞ネットワーク
天秤櫓漆喰はく落 台風7号各所で被害		令和5年8月19日	滋賀彦根新聞
彦根城を世界遺産に「巨大モザイクアート」 市民の願い、メッセージ1000枚超		令和5年8月28日	中日新聞
世界遺産をめざす彦根城、ユネスコに「事前評価」申請 結果は1年後		令和5年9月5日	朝日新聞
「靱」横帯など発掘成果紹介 彦根市と県立大 10月7日 考古学セミナー		令和5年9月29日	読売新聞
乾杯に備えよ「彦根りんご」のシードル誕生 彦根城の世界遺産登録		令和5年10月21日	中日新聞
今年も光のアート 平和の願い込めた彦根城		令和5年11月17日	BBCびわ湖放送
近江八幡 古墳時代の武具「靱」の一部を初展示		令和5年11月26日	NHK
彦根のボランティアガイド養成講座、受講者募る 2月から6回		令和5年1月6日	中日新聞
旭森小児童「まち歩きしたい」「歴史クラブ」学校へ200冊贈呈		令和6年1月27日	滋賀彦根新聞
井伊神社の歴史や建築価値伝える 彦根の開国記念館で企画展		令和6年2月9日	中日新聞
彦根城・佐和口多聞櫓 公開 天守耐震工事伴い 侵攻阻む穴・厚い防弾壁		令和6年2月14日	朝日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年4月～令和6年3月末の期間で、新聞・テレビに報道された件数(途中経過)			
彦根城関係: 59件 伝統文化等: 3件 彦根城博物館関係: 21件 彦根の歴史関係: 8件 市民団体関係: 11件 文化財関係: 13件 世界遺産関係: 26件 啓発事業関係: 1件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
 漆喰壁がはがれた天守櫓 令和5年8月19日(土) 滋賀彦根新聞社 「天秤櫓漆喰はく落 台風7号各所で被害」  旭森小児童「まち歩きしたい」「歴史クラブ」学校へ200冊贈呈 令和6年1月27日(土) 滋賀彦根新聞社 「旭森小児童「まち歩きしたい」「歴史クラブ」学校へ200冊贈呈」			

項目	評価対象年度	令和5年度
----	--------	-------

1 彦根市の観光客入込数について

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

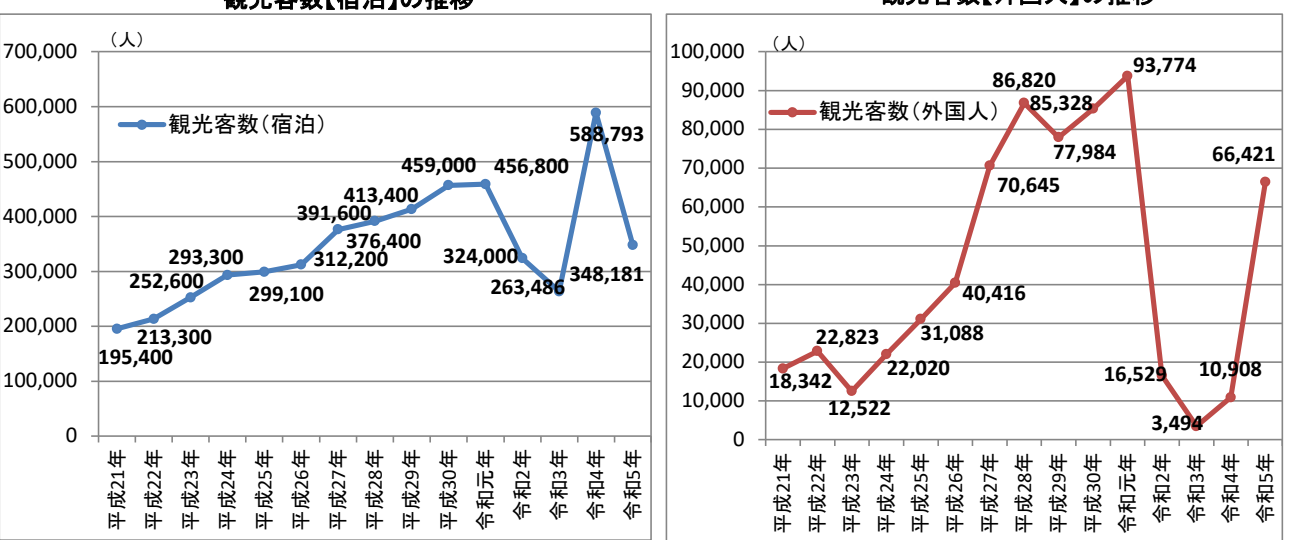
コロナ禍を脱却しつつある感があり、観光客数はかなり回復傾向にある。外国人観光客は6万人を超え、昨年よりも大きく増加した。また、彦根城の入山者数は、例年並とはいかないものの、管理受託業者が主体となり国宝彦根城夜間特別公開などを実施したことから、令和4年に比べても増加している。

進捗状況 ※計画年次との対応

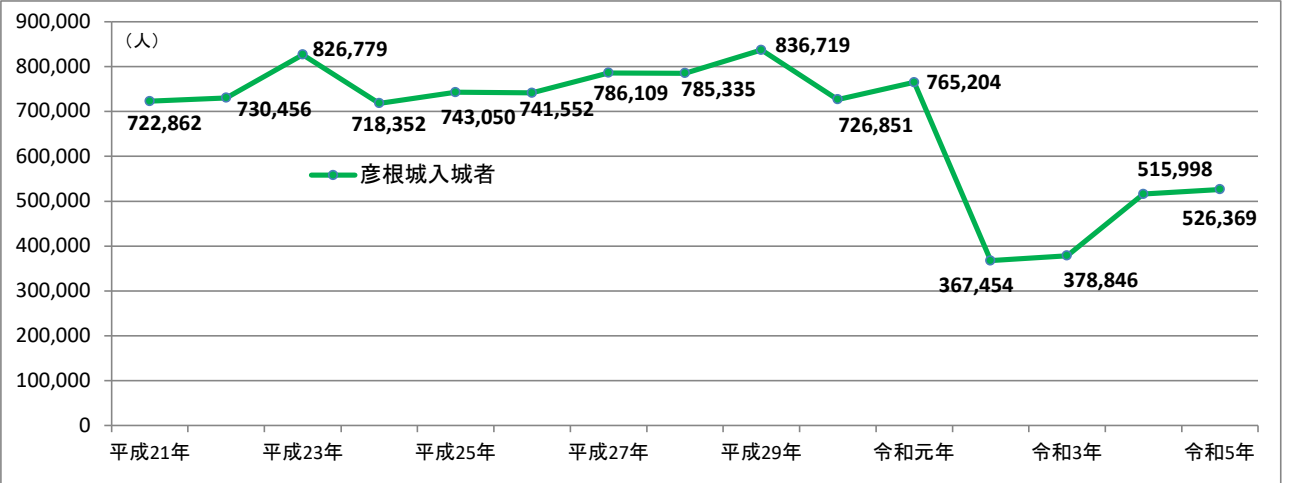
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



彦根城の入山者数の推移
※注)彦根城の入山者数の推移は、観光客数の推移統計に合わせて、1月から12月の年で表しています。



評価対象年度	令和5年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:彦根市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:令和6年4月18日(木)	
(コメントの概要)	
1 オーバーツーリズムを起こさない、ということでグリーンスローモビリティの件、またパーク・アンド・バスライドなどのほか、具体的な対策はないのか、その辺を聞かせてほしい。 2 城はちゃんと管理できているからよいが、その中の平地の部分で歴史的な風致を形成する滋賀大学の入口のところに、昔は大きな木がたくさんあった。それを工事のために取っ払ってしまって、工事事務所が建っていた。そういうことが、組織が違えば簡単にやられてしまう。こんなことが頻繁に起こっているようであれば、いくら世界遺産になろうと思っても、地元からきちっと仕事していない、と言われることが心配である。それは歴史的風致をやろうとしている我々が文句を言わねばならないのかも分からない、その辺について、言えないか。 3 定量的な評価として、例えば数字の意味がどういうものなのか、そこも踏み込んで書いていただけるとありがたい。例えば13ページの歴史まちづくり活動支援事業については、登録物件が8件、成約が1件の成果があった、ということだが、この数字が多いのか少ないのか、当初の目論見とされていた部分についてどうだったのか、というのが、この文面からは読み取れない。他にも数字が書いてあるところはあるが、その数字が多かったのか、少なかったのか目論見どおりだったのか、事業が実際評価としてはどうだったのか、というのを補足していただければありがたい。	
(今後の対応方針)	
1 ハード的な整備以外のソフト的な対策、例えば彦根城一極集中を避ける、時間をずらす、場所をずらすというような観光施策をやっていく必要があるかとは思っている。 2 彦根城の世界遺産の中で、構成資産としては彦根城、今の特別史跡に限っているが、その周りの緩衝地帯に関しては今後、歴史的な風致を維持していくためにもそういう伐採等を考える機会というか、例えば市民に歴史的風致の考え方を周知しながら、また、世界遺産の緩衝地帯ということでご理解いただきながら共にそういったまちづくりに取り組んでいけるような周知の方法を検討していく必要があるかと思うので、今後検討させていただきたい。 3 年度ごとによって登録される数も変わってくるので、毎年ではなくて、例えばこの計画の当初から件数がどうなったかという推移を書き表すとか、どういう状況かというのをここで表にまとめたものに変更していきたい。 評価シートの方は、件数に関しての推移等が分かるように変更を考えていきたい。	